

# 会議結果報告書

平成28年3月28日

会議の名称	平成27年度第1回生活支援体制整備連絡会（説明会）
開催日時	平成28年3月25日（金）10時00分～11時45分
開催場所	志木市役所301・302会議室
出席者	町内会連合会、老人クラブ連合会、連合婦人会、民生委員・児童委員協議会、商工会、コミュニティ協議会、食生活改善推進協議会、料理ボランティアおんどりクラブ、話し相手ボランティア「語楽の会」、いきいきサロン運営委員会、サロンあざみ、スペース・わ、いろは元気サロン本町運営委員会、カッピー体操ボランティア、クラブしっきーず、東上まちづくりフォーラム、生活協同組合コープみらい、企業組合たすけあい輪っはっは、（株）コンバート・ワン、シルバー人材センター、社会福祉協議会、社会福祉法人「さくら瑞穂会」、社会福祉法人 ルストホフ志木、社会福祉法人志木福祉会 あったかの家、高齢者あんしん相談センター（ブロン、柏の杜、館・幸町、せせらぎ、あきがせ）、市関係課（財政課、市民活動推進課、産業観光課、福祉課、健康づくり支援課、生涯学習課、いろは遊学館、高齢者ふれあい課）（計51人）
欠席者	ふれあいサロン運営委員会、いろは百歳体操拠点団体、志木りんくす、宗岡りんくす、市関係課（政策推進課） (計5人)
説明員職氏名	高齢者ふれあい課 (計2人)
議題	1 開会 2 あいさつ 3 行政説明 （1）地域の支えあいと生活支援体制整備を目指して （2）今後のスケジュールについて 4 参加者の自己紹介 5 意見交換 6 閉会

結 果	スケジュール、協議方法案の説明を行い概ね了承された。 (傍聴者0人)
事務局職員	高齢者ふれあい課 近藤課長、吉田主幹、高山主任、二瓶主任 (計4人)
審議内容の記録（審議経過、結論等）	
<p>1 開会</p> <p>2 あいさつ</p> <p>3 行政説明</p> <p>(1) 地域の支えあいと生活支援体制整備を目指して 資料No.1に基づき、事務局から説明をした。</p> <p>(2) 今後のスケジュールについて 資料No.2に基づき、事務局から説明をした。</p> <p>4 参加者の自己紹介</p> <p>5 意見交換</p> <p>参加者) 百歳体操をやってみて感じる事として、会場の確保や会場費の負担、保険加入など、すべてを住民が行うことは難しい。市の援助についてどのように考えているか。</p> <p>事務局) 会場探しの相談など、連携は取っていく。今回の百歳体操は、地域の自主的な活動をコンセプトにしており、これまでのものとは全く違うアプローチと理解していただきたい。現段階では会場費負担の援助は考えていないが、今後、生活支援体制整備の中で、新しい地域支援事業の一定基準のサービス提供者になれば、補助していく仕組みを考えている。</p> <p>参加者) 今後、具体的にはどのようなスケジュールなのか。4月以降は、部会等中心ということによいか。</p> <p>事務局) 今回示しているスケジュールは案の段階である。今回のアンケート結果や生活支援コーディネーターとも協議していく中で検討していく。具体的な内容は部会形式で協議し、全体に周知すべき内容は全体会を開催していくことを想定している。</p> <p>参加者) 自分の家庭のことであるが、いざ何らかの介護や支援が必要となった時、どこにどのように相談したらよいかわからなかった。多くの市民にとっても同様のことであると思う。近所で困っている人がいる時、どこまで相談にのって、どこにつないだらよいかわからない。手助けする手段が市民はわからない。</p> <p>事務局) 高齢者あんしん相談センターに相談してもらえたらと思う。具体的な課</p>	

題は、地域ケア会議などを通じて検討している。

参加者) どんな課題でも良いので、高齢者あんしん相談センターに相談してほしい。相談の結果、高齢者あんしん相談センターで解決できない課題の場合、専門機関につなげて一緒に関わっていく。

参加者) 民生・児童委員も地域住民を見守っている。地域の担当も決まっており、84人の民生・児童委員が活動している。ぜひ、民生・児童委員にも声をかけてほしい。

6 閉会

以上